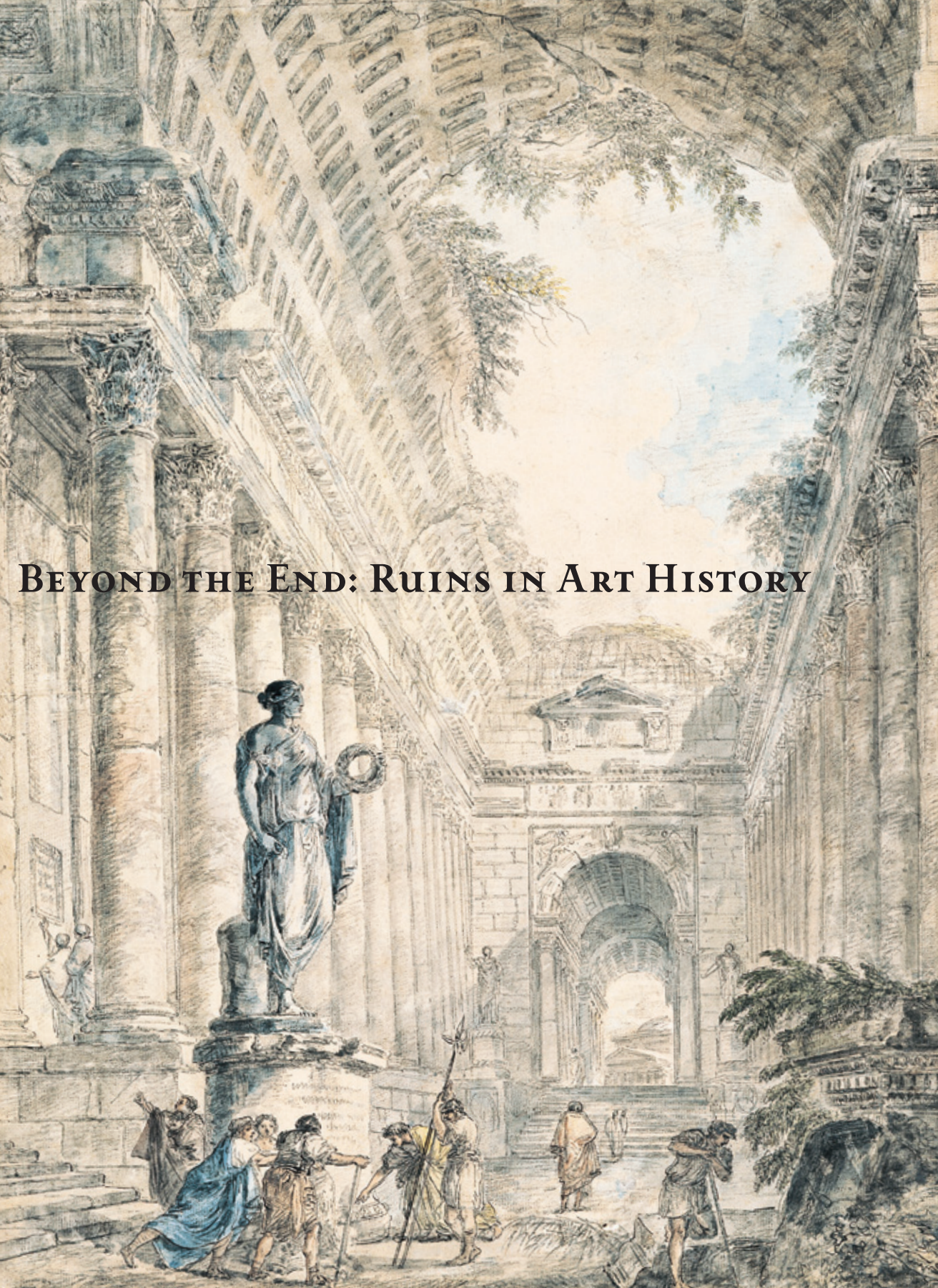


# 終わりのむこうへ… 廃墟の美術史

## BEYOND THE END: RUINS IN ART HISTORY



ユベール・ロベール《ローマのパンテオンのある建築的奇想画》ペン・水彩、紙 1763年 ヤマザキマザック美術館

2018.12.8.sat—2019.1.31.thu

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

※毎週金曜日は午後8時閉館（入館は午後7時30分まで）

休館日：12月10日（月）、17日（月）、25日（火）、12月29日（土）～1月3日（木）、1月7日（月）、15日（火）、21日（月）、28日（月）

入館料：一般500円（400円）、大学生400円（320円）、高校生・60歳以上250円（200円）、小中学生100円（80円）

※（ ）内は団体10名以上および渋谷区民の入館料 ※土・日・祝日は小中学生無料

※毎週金曜日は渋谷区民無料 ※障がい者とその付添の方各1名は無料

主催：渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

# 渋谷

渋谷区立 松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14

TEL 03-3465-9421

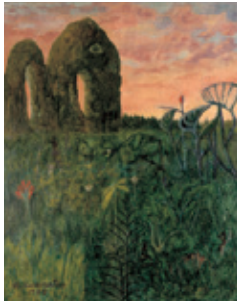
<http://www.shoto-museum.jp>





# 終わりのむこうへ：廃墟の美術史

## BEYOND THE END: RUINS IN ART HISTORY



COMING SOON  
終わりのむこうへ  
～ひとつの答え～

シャルル・コルネリス・ド・ホーホ ヨハネス・ラインシャー リチャード・ウルムン ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ  
ユベール・ロベール 歌川豊春 亜欧堂田善 トマス・ガートン ジョン・セル・コットマン ジョーン・リナル  
アシル＝エトナ・ミジャロン ウジェーヌ・イザベイ アントニオ・フオンタネーゼ エドワード・マクドナルド・バウチャー  
藤島武二 澤部清五郎 ジョルジオ・デ・キリコ(工房) 小野竹喬 不染鉄 ポール・デルヴォー  
中尾彰 矢橋六郎 難波田龍起 伊藤久三郎 今井憲一 山口薫 浜田浜雄 博松正利 池田龍雄 麻田浩 野又穂 大岩オスカル 元田久治

栄華や文明の痕跡を残しながら崩れ落ちようとする建造物や遺跡。「廃墟」は西洋美術のなかで、風景画の一角にくりかえし描かれていました。18世紀から19世紀にかけて興味深いことに、いわゆる廃墟趣味が流行すると、「廃墟」は絵画の主役の地位を確立していきます。「廃墟」を愛でること、描くこと—この美学は、近代に日本の美術のなかにも伝播しました。廃墟の画家として名を馳せた18世紀のユベール・ロベール、版画家ピラネージから、19世紀のコンスタブル、20世紀のアンリ・ルソー、マグリット、デルヴォー、そして江戸時代から日本の近現代の画家たち、亜欧堂田善、藤島武二、岡鹿之助、元田久治、大岩オスカル、野又穂まで、廃墟の主題は描き継がれているのです。なぜ人々は、流れる時間のなかで滅びた、またはいつか滅びてしまう、遠い昔のあるいは遠い未来の光景に、惹きつけられるのでしょうか。この展覧会では、西洋古典から現代日本までの廃墟・遺跡・都市をテーマとした作品を集め、これら「廃墟の美術史」をたどります。

### ■ 各種イベント情報

#### A. 記念講演会『廃墟の美学』

講師：谷川渥氏（美学者）

12月8日（土）午後2時～3時（開場：午後1時30分）定員80名

#### B. 土曜午後3時のアーティスト・トーク

1月12日（土）元田久治氏（出展作家、武蔵野美術大学准教授）

『遠い未来はいつか遠い過去になる』

1月19日（土）野又穂氏（出展作家、女子美術大学教授）

『イマジン Imagine』

各日共に午後3時～4時（開場：午後2時30分）定員80名

\*午後2時30分より1階ロビーにて整理券配布

#### C. 特別講座「渋谷と廃墟」

担当学芸員：平泉千枝

1月26日（土）午後2時～3時（開場：午後1時30分）定員80名

#### D. ミュージアムコンサート

木管三重奏 トリオいろいろ

出演：石神智子（オーボエ）、垣内紀子（ファゴット）、飯田真弓（クラリネット）

12月9日（日）午後2時～3時 定員80名

\*往復はがき、またはメール（Eメール：info@shoto-museum.jp）による事前申込、締切は11月26日（月）必着

\*千・住所・氏名・年齢・日中連絡可能な電話番号・参加希望人数（2名まで）をご記入のうえ、松濤美術館コンサート係まで ※応募多数の場合は抽選

#### E. 学芸員によるギャラリートーク

12月14日（金）、12月22日（土）、1月6日（日）各回午後2時～

#### F. 金曜の館内建築ツアー

12月14日（金）、21日（金）、28日（金）、1月4日（金）、11日（金）、18日（金）、25日（金）各回午後6時～（30分程度）

すべて、※要入館料 ※D以外は、事前予約の必要はありません

A～D 地下2階ホールへお越しください

E～F 1階ロビーに集合してください

【交通案内】 京王井の頭線新泉駅下車徒歩5分

JR・東京メトロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分



渋谷区立 松濤美術館  
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14

TEL 03-3465-9421 <http://www.shoto-museum.jp>

### ■ 次回の展覧会のご案内

サロン展 南薫造展、(同時開催)山口草四朗展

前期：2019年2月10日（日）～24日（日）、後期：3月2日（土）～17日（日）

- 1 シャルル・コルネリス・ド・ホーホ《廃墟の風景と人物》17世紀 油彩、板 東京富士美術館 ©東京富士美術館イメージアカイブ/DNPartcom
- 2 ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ『ローマの景観』《通称ミネルヴァ・メディアカ神殿》1764年頃 エッチング、エングレーヴィング 国立西洋美術館 The National Museum of Western Art, Tokyo
- 3 アシル＝エトナ・ミジャロン《廃墟となった墓を見つめる羊飼い》1816年 油彩、カンヴァス 静岡県立美術館
- 4 藤島武二《ボンベイの廃墟》1908年頃 油彩、板 茨城県近代美術館
- 5 ボール・デルヴォー《海に近い La Mer est proche》1965年 油彩、カンヴァス 姫路市立美術館 © Foundation Paul Delvaux, Sint-Idesbald - SABAM Belgium / IASPAR 2018 G1526
- 6 大岩オスカル《動物園》1997年 油彩、カンヴァス 東京都現代美術館寄託
- 7 元田久治《Indication:Shibuya Center Town》2005年 リトグラフ
- 8 澤部清五郎《群羊園(伊太利アツシ附近)》1931年 コンテ、膠彩・絹布 星野画廊
- 9 博松正利《夢》1940年 油彩、カンヴァス 練馬区立美術館
- 10 野又穂 新作《Imagine》2018年